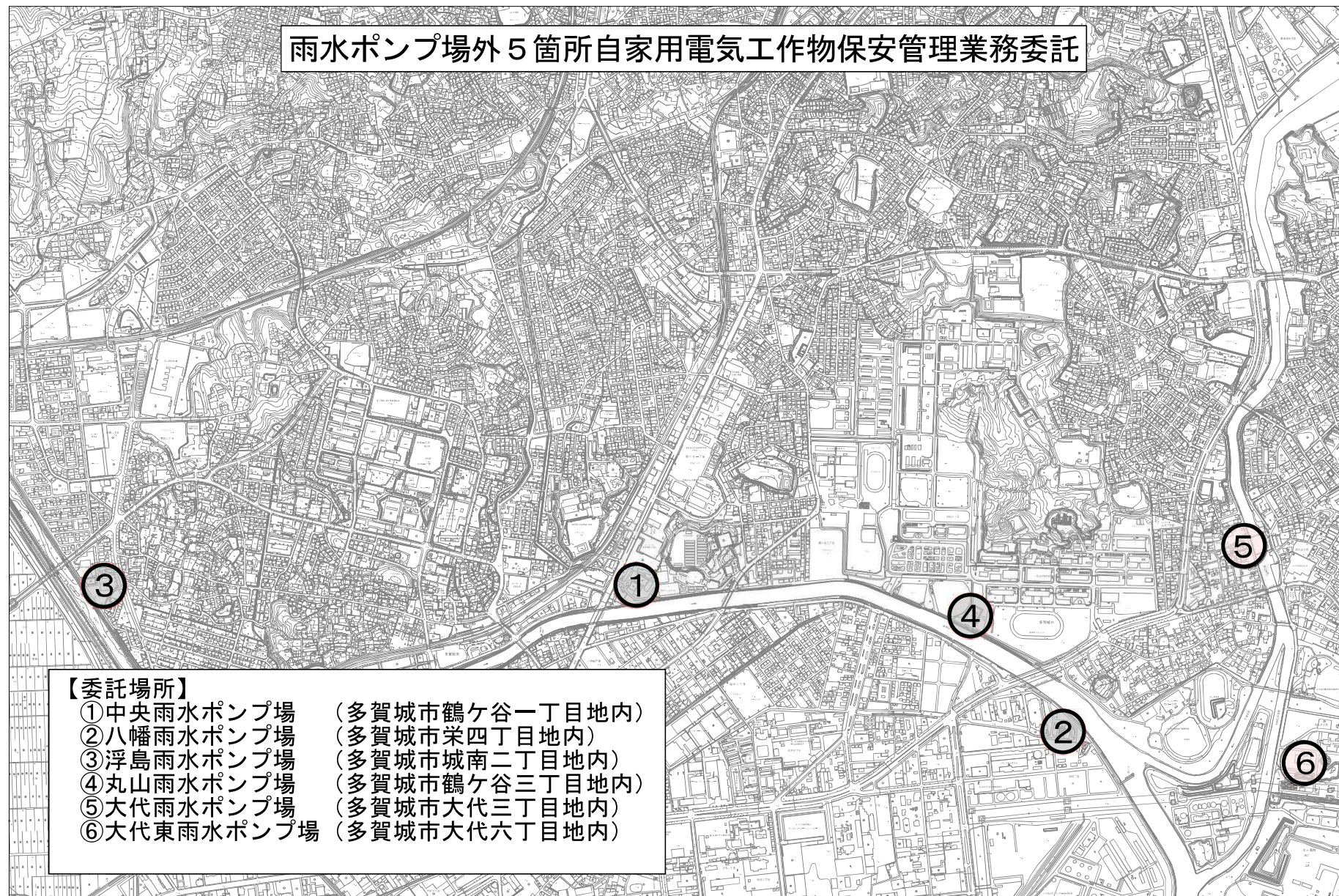


仕 様 書

- 1 委 託 業 務 名 中央雨水ポンプ場外 5 箇所自家用電気工作物保安管理業務委託
- 2 委 託 業 務 内 容 別紙「特記仕様書」のとおり
- 3 委 託 場 所 多賀城市鶴ヶ谷一丁目地内外 5 箇所
- 4 委 託 期 間 令和 7 年 4 月 1 日から令和 1 0 年 3 月 3 1 日まで（3 年間）
- 5 委 託 対 象 施 設 （別添 1 参照）
 - (1) 中央雨水ポンプ場（多賀城市鶴ヶ谷一丁目地内）
 - (2) 八幡雨水ポンプ場（多賀城市栄四丁目地内）
 - (3) 浮島雨水ポンプ場（多賀城市城南二丁目地内）
 - (4) 丸山雨水ポンプ場（多賀城市鶴ヶ谷三丁目地内）
 - (5) 大代雨水ポンプ場（多賀城市大代三丁目地内）
 - (6) 大代東雨水ポンプ場（多賀城市大代六丁目地内）
- 6 支 払 方 法 毎月均等払い
- 7 そ の 他
 - (1) 点検中又は、運転中に故障、異常等を発見した場合は、その内容及び関係する要因を示す記録・写真等を提示し、発注者と協議のうえ適宜処置すること。
 - (2) 点検に必要な用具、用品については受注者が準備するものとする。
また、軽微な修理に係る材料、部品等は受注者が負担するものとする。
 - (3) 受注者は、関係法令等を遵守するものとする。
 - (4) 多賀城市は環境マネジメントシステムを運用し地球環境保全に取り組んでいることから、契約の範囲内において環境に配慮した対応を可能な限り実行すること。
 - (5) 受注者は、市が発注する委託業務において、当該契約の履行に当たり暴力団員等による不当要求又は妨害（以下「不当介入」という。）を受けた場合は、断固としてこれを拒否するとともに、不当介入あった時点で速かに警察への通報等を行うこと。
 - (6) 受注者は、上記（5）により警察への通報等を行った場合には、速やかに委託業務を所掌する上下水道部施設整備課長にその内容を書面により報告すること。
 - (7) 受注者は、暴力団員等による不当介入を受けたことにより工程に遅れが生じる等の被害が生じた場合は、上下水道部施設整備課長と協議を行うこと。
 - (8) 一括再委託の禁止
 - ア 受注者は業務のうち履行の全部、主要な部分又は契約金額の概ね 2 分の 1 以上に相当する部分を委任し、又は請け負わせることをしてはならない。
 - イ 業務の一部を再委託しようとする場合には、再委託承諾申出書を発注者に提出し、承諾を受けなければならない。

雨水ポンプ場外 5 箇所自家用電気工作物保安管理業務委託



特記仕様書

1 目的

この特記仕様書は、多賀城市上下水道部が管理する雨水ポンプ場 6 箇所の自家用電気工作物について、保安管理業務を適正かつ円滑に実施するため、必要事項を定めるものである。

2 業務内容

- (1) 電気事業法（昭和三十九年七月十一日法律第百七十号）第 4 2 条第 1 項の規定により定める各事業場の保安規定のとおり各事業場の工事、維持及び運用に関する保安管理業務
- (2) 自家用電気工作物の点検、測定、試験、操作及び点検報告書の提出
- (3) 自家用電気工作物の設置、変更について、主務官庁に対して申請書又は届出を必要とする場合、保安規定変更及び保安管理業務外部委託承認申請における書類、図面等の作成及び手続きの代行を行う。
- (4) 事故発生時等の緊急対応業務
- (5) 電気工作物に関する技術指導

点検の結果、改修を要する事項や取扱上注意すべきことが発見された場合は、報告書等の書類に記録し報告するとともに、必要な処置または取扱いについて指導・助言を行うこと。

また、電気工作物に異常が発生又は発生する恐れがある場合についても同様とする。

3 点検測定

自家用電気工作物の点検測定は、下記の点検頻度、点検・測定等の実施基準を厳守し、本市保安規定に定める基準により行うこと。

(1) 点検頻度

点検頻度の基本は以下のとおりとし、施設の稼働状況等を考慮して点検を行うものとする。

点検の種別	周 期
月次点検	月 1 回
年次点検	年 1 回 (停電状態にして年 1 回以上点検(経年変化の診断))
臨時点検	必要な都度

(2) 点検・測定等の実施基準

詳細は、「別紙 1」点検・測定等の実施基準による。

4 緊急時の体制

- (1) 受注者は自家用電気工作物の事故発生等、緊急時の連絡体制及び出動体制を整備し、施設に 2 時間以内に保安業務担当者等が到着出来る体制を確立していること。

5 業務計画書等

受注者は、本業務委託契約締結後、速やかに、業務計画書等を発注者に提出すること。

(1) 業務計画書には、下記の内容等を記載すること。

- ア 業務概要
- イ 実施体制
- ウ 全体工程表
- エ 緊急連絡体制表
- オ 安全衛生管理体制
- カ 電気主任技術者免状の写し
- キ その他

(2) 業務計画書の内容が追加変更になる場合は、その都度提出すること。

6 保安管理業務の要件

受注者は、電気事業法施行規則第52条の2の承認要件及び電気主任技術者（免状の種類は不問）の資格を有していること。

7 安全確保

(1) 安全の確保

業務の実施に当たっては、労働安全衛生規則（昭和四十七年九月三十日労働省令第三十二号）、電気事業法等の関連法規を遵守し安全の確保に努めなければならない。

(2) 単独作業の禁止

高圧回路の停電、送電を伴う作業、高圧近接作業、又は高所作業を行う場合は安全確保のため監視者をおいて複数で作業を実施するよう努めること。

(3) 保護具、防護具の使用

ア 受注者は、高圧近接作業を行う場合は適正な絶縁用防護具を使用しなければならない。（労働安全衛生規則第342、343条）

イ 定期的に（6ヶ月以内ごとに1回以上）耐圧試験を実施し、その絶縁性能が維持されていることを確認しなければならない。（労働安全衛生規則第351条）

ウ その記録は発注者の求めがあったとき、直ちに開示しなければならない。

(4) 労働災害総合保険

労働災害事故に備えて労働者災害補償保険に加入していること。

8 機械器具の管理

(1) 測定器の校正・誤差試験

受注者が業務に使用する次の測定機器（継電器試験機、耐圧試験機に組み込まれた交流電圧計、電流計も含む）は国家基準を満足した方法で校正・誤差試験を実施すること。

(2) 校正・誤差試験結果の記録等

前項の測定機器の校正・誤差試験の周期は1年未満とし、受注者はその試験結果の

記録を台帳管理するとともに、発注者の求めがあったときには直ちに開示しなければならない。

9 対象施設

(1) 中央雨水ポンプ場

ア 電気方式	交流三相3線式	6 6 0 0 V
イ 低圧電力	交流三相3線式	2 1 0 V
ウ 契約電力	3 8 5 kW	
エ 変圧器	乾式モールド形	6.6kV/210V 3φ 500kVA
	H種乾式	6.6kV/210V 3φ 500kVA
	乾式モールド形	210V/210-105V 1φ 75kVA
オ 遮断器	真空遮断器	7.2kV 600A 12.5kA
	真空電磁接触器	6.6kV 200A
カ 非常用発電機	交流三相3線式	6 6 0 0 V 5 0 0 kVA
ク 常用発電機	交流三相3線式	2 0 0 V 3 0 0 kVA

(2) 八幡雨水ポンプ場

ア 電気方式	交流三相3線式	6 6 0 0 V
イ 低圧電力	交流三相3線式	4 2 0 V
ウ 契約電力	2 4 5 kW	
エ 変圧器	乾式モールド形	6.6kV/420V 3φ 400kVA
	F種FRPモールド形	420V/210-105V 1φ 30kVA
	F種FRPモールド形	420V/210V 1φ 100kVA
オ 遮断器	真空遮断器	7.2kV 600A 12.5kA
カ 非常用発電機	交流三相3線式	4 2 0 V 3 5 0 kVA
キ 加圧ポンプ用発電機	交流三相3線式	2 0 0 V 2 2 kVA

(3) 浮島雨水ポンプ場

ア 電気方式	交流三相3線式	6 6 0 0 V
イ 低圧電力	交流三相3線式	2 1 0 V
ウ 契約電力	1 3 5 kW	
エ 変圧器	F種モールド形	6.6kV/210V 3φ 200kVA
	F種モールド形	210V/210-105V 1φ 20kVA
オ 遮断器	真空遮断器	7.2kV 600A 12.5kA
カ 非常用発電機	交流三相3線式	2 1 0 V 2 0 0 kVA

(4) 丸山雨水ポンプ場

ア 電気方式	交流三相3線式	6 6 0 0 V
イ 低圧電力	交流三相3線式	2 1 0 V
ウ 契約電力	1 3 5 kW	

エ	変	圧	器	F種モールド形	6.6kV／210V 3φ 200kVA			
				F種モールド形	210V／210-105V 1φ 20kVA			
オ	遮	断	器	真空遮断器	7.2kV 600A 12.5kA			
カ	非	常	用	発	電	機	交流三相3線式	210V 150kVA
(5) 大代雨水ポンプ場								
ア	電	気	方	式	交流三相3線式	6600V		
イ	低	圧	電	力	交流三相3線式	210V		
ウ	契	約	電	力	105kW			
エ	変	圧	器	F種モールド形	6.6kV／210V 3φ 150kVA			
				F種モールド形	210V／210-105V 1φ 20kVA			
オ	遮	断	器	真空遮断器	7.2kV 600A 12.5kA			
カ	非	常	用	発	電	機	交流三相3線式	210V 150kVA
(6) 大代東雨水ポンプ場								
ア	電	気	方	式	交流三相3線式	6600V		
イ	低	圧	電	力	交流三相3線式	420V		
ウ	契	約	電	力	135kW			
エ	変	圧	器	F種モールド形	6.6kV／420V 3φ 200kVA			
				F種モールド形	420V／210V 3φ 30kVA			
				F種モールド形	420V／105-210V 1φ 30kVA			
オ	高	圧	負	荷	開	閉	器	7.2kV 600A 12.5kA
カ	非	常	用	発	電	機	交流三相3線式	420V 185kVA

点検・測定等の実施基準

(需要設備、受変電設備、非常用予備発電装置・低圧配電線路)

電気工作物		点検・測定項目	点検種別		
			月次点検 月1回	年次点検 年1回	臨時点検
引込設備・受変電設備・配電設備・二次変電設備等	区分開閉器 送出線 電柱及び支持物 ケーブル	外観点検	○	○	電気事故が発生した場合若しくは発生のおそれがある場合等必要に応じて特別に点検・測定を行う。
		観察点検		○	
		絶縁抵抗測定		○	
		保護継電器との連動動作試験		○	
		保護継電器の動作特性試験		○	
	変電室・電気室 キュービクル	外観点検	○	○	
		計器指示値の確認	○		
	断路器 遮断器 開閉器 高圧負荷開閉器	外観点検	○	○	
		観察点検		○	
		絶縁抵抗測定		○	
		保護継電器との連動動作試験		○	
		保護継電器の動作特性試験		○	
		絶縁油試験		必要の都度	
	電力用フューズ	内部点検		必要の都度	
		外観点検	○	○	
		観察点検		○	
	計器用変成器	絶縁抵抗測定		○	
		外観点検	○	○	
		観察点検		○	
	変圧器	絶縁抵抗測定		○	
		外観点検	○	○	
		観察点検		○	
		絶縁抵抗測定		○	
		温度・二次漏洩電流測定	○		
	母線 避雷器 その他高圧機器	絶縁油試験		必要の都度	
		内部点検		必要の都度	
		外観点検	○	○	
		観察点検		○	
		絶縁抵抗測定		○	
	配電盤及び制御回路	外観点検	○	○	
		観察点検		○	
		絶縁抵抗測定		○	
		計器校正・シーケンス試験		必要の都度	
	接地装置	外観点検	○	○	
		観察点検		○	
		接地抵抗測定		○	
	蓄電池設備	外観点検	○		
		観察点検		○	
		比重・液温・電圧測定		○	
負荷設備	電動機 電熱器 照明装置 配線配電器具 接地装置 その他電気機器類	外観点検	○	○	
		観察点検		○	
		絶縁抵抗測定		○	
		接地抵抗測定		○	
		燃料貯蔵量等の確認	○	○	
非常用予備発電装置	原動機関係	起動・停止試験	○	○	
		外観点検	○	○	
		観察点検		○	
		燃料貯蔵量等の確認	○	○	
	発電機関係	絶縁抵抗測定		○	
		接地抵抗測定		○	
		発電電圧・周波数（回転数）確認	○	○	
		外観点検	○	○	
		観察点検		○	
	遮断器 開閉器 その他電気機器類	受電設備に準ずる			
		外観点検	○	○	
	蓄電池 充電装置 始動用装置	観察点検		○	
		比重・液温・電圧測定		○	
		空気圧測定	○	○	
		外観点検	○	○	